

材料 ・樹脂 … 歩行用バインダー 1Kgアルミパック入り  
車庫用バインダー 1Kg缶入り

・砂利 … 種類によって20Kg入りと、25Kg入りがあります。



(車庫用)



(歩行用)

(バインダー1Kg)

1、下地 下地の埃などをキレイに除去してください。掃除機で吸い取ると良いです。

1, 混合 砂利20Kgに対し、バインダー1Kgパックを入れ良く攪拌します。(割合は砂利の5%です)

3、珪砂混入 コテへのベトツキ緩和と滑り止めのために、ホワイトサンドを2.5%程度混入します。  
(砂利20Kgに対し500g程度) 目安はコップ1杯少々程度です。  
砕石砂利の場合は施工性も良く、滑りませんが、丸砂利には大変効果があります。  
特に、冬場の車庫用は粘度が高く、ベトツキ緩和のため、混入することをお奨めします。



(下地)



(混合)

4、攪拌 満遍なく攪拌します。(攪拌は、徹底的にしてください。)  
砂利が樹脂で濡れていても安心せずに、更に念を入れて混ぜましょう。  
(攪拌不足は、樹脂溜まりや色むら、接着不良の原因になることがあります。)(ホワイトサンド500g)



(攪拌)

**泡が吹いて白く変色する原因** 1、攪拌不足による樹脂溜り(平均に混ぜてください。)  
2、濡れた砂利から出る水蒸気(乾燥砂利を使用してください。)

5、施工 金コテに付いた樹脂は、布にシンナー等を含ませて拭き取りますと均し易くなります。  
(コテ拭き用、洗浄用には、シンナーの他、石油(安くて飛ばないので経済的)が便利です。  
シンナーは、アルコールを含まないものを使用してください。



(施工)

施工厚:歩行用6mm以上、車庫用8mm以上 (薄いと下地が見えることがあります。)

6、養生 養生中に歩行用の板やビニールなどを置かないでください。  
硬化後に剥がれなくなります。  
車庫用は、特に粘度が高いため養生期間を多く取ってください。  
硬化途中に雨が降っても白濁、硬化不良を起しません。



(完成)

樹脂は、空気中の水分に反応して硬化します。  
冬季の12 以下の低温や、湿度が低く乾燥している場合、硬化が遅くなります。  
又、車庫用は、歩行用に比べ粘度が高いため硬化に時間がかかります。  
施工後10時間程度で霧吹きをして湿度を高めると硬化を促進します。  
尚、冬季は、4 以下の気温で効果を発揮する硬化促進剤混入の材料を出荷  
します。(ラベルにW!Nと表示) 従来品と混ぜても問題ありません。

7、注意 樹脂は透明です。道具に汚れがあると、攪拌中に混ざって変色することがあります。シンナーで拭いてお使いください。  
(新品の錬り舟でも剥離剤などが塗ってある場合があります。)  
攪拌は、充分に。特に砕石砂利は念入りに。攪拌不足は、樹脂溜まり、強度不足、色むらの原因になることがあります。

混合割合

- 砂利 20Kg
- 樹脂 1Kgパック
- ホワイトサンド500g



又は、手練の場合  
錬り舟とクワ

(攪拌は、充分に)

強力で粘度が高い為、全体に充分な攪拌を。  
樹脂が、平均に混ざるようにしてください。  
砂利が濡れると充分と錯覚します。

砂利が濡れただけでは、不十分  
(底の方までもう一度)